POTENTIALIGHT
AI × HR Career Studio

FDE Quest
Forward Deployed Engineer Career Studio

DATA AS OF 2026-07-17 · GLOBAL

海外FDE 市場データ 2026-07-17

米国求人爆発／報酬構造／日本への時差
Plank・Bloomberry・Perspective AIの一次データを統合

REPORT 02 / 04 · FDE QUEST

7–11倍

グローバルFDE求人が1年で爆発（**Indeed +729% YoY**／Bloomberry +1,165%）

米国 2/3

Plank census 1,206件のうち米国が2/3。日本はLinkedIn比較で米国の**約1/28**＝成長カーブ初期

$185K ≒ 2,800万円

米国の基本給中央値。フロンティアラボの総報酬は**1.5億円超**／エクイティ比率 60〜70%

SOURCES · Plank / Bloomberry / Perspective AI / Business Insider / LinkedIn

結論：この「時差」と「報酬ギャップ」自体がコンテンツ資産になる

グローバルFDE市場は爆発期。米国が主戦場、日本は成長カーブの初期

01

求人が1年で 7〜11倍

Indeed +729% YoY／Bloomberry +1,165%／Plank 1,206件 669社。掲載件数の伸びは基準違いで直接比較不可

02

米国が 2/3を占める

SF/NYCに83%集中。日本はLinkedIn比較で米国の**約1/28**＝成長カーブ初期

03

雇い手の73%は スタートアップ

VC調達済みグロース企業が中心。フロンティアラボ6%・上場9%・エンプラ9%。**コンサル/SIは1%未満**

04

米国の基本給 中央値 $185K

約2,800万円。フロンティアラボの総報酬は**1.5億円超**。エクイティが TC の60〜70%（急上昇）

05

「時差」が コンテンツ資産

従来の輸入ラグ3〜5年が、FDEでは**約12ヶ月に圧縮**。日本の準備期間は1/3〜1/4しかない

Source: Business Insider・Bloomberry・Plank FDE census・Perspective AI・LinkedIn実測（2026-07-17）

目次

01
市場規模・成長率
Indeed・Bloomberry・Plank・Perspective AIの数字の意味を出典の信頼度つきで整理
P.04 – 05

02
国別比較
米56k+・英6k+・日本2k+の相対比較。LinkedIn実測の読み方の注意点
P.06

03
米国の報酬構造
OpenAI・Anthropic・Scale AI・Palantirの4社比較。基本給と総報酬の二層構造
P.07 – 08

04
雇用主・顧客・スキル
Plank雇用主構造・Bloomberry顧客業界・スキル要件・海外/日本の人物像の違い
P.09 – 11

05
代表論考
Pragmatic Engineer・a16z・First Round Review・YC求人ボードなど
P.12

06
日本市場への含意
「時差」の系譜／ラグ圧縮／日本ピーク予測4段階／営業設計への含意
P.13 – 17

1. 市場規模・成長率（出典の信頼度つき）

データ	値	種別	出典
YoY成長率（2025/4→2026/4）	**約 729% 増** （2025年1月比では +5,230%）	引用（一次＝Indeed→Business Insider 2026-05-18）	Business Insider （AOL転載で確認）
2024→2025年 1-10月	**+1,165%**	引用（データ元 Revealera）	Bloomberry 求人1,000件分析
厳密職名の世界求人数 （2026-07-04）	**1,206件 / 669社**	**一次集計に最も近い（ATS API＋重複排除）**	Plank FDE census joinplank.com/fde-job-market
2026年初頭までの成長	**YoY +1,000% 超**	引用	Perspective AI 2026 Hiring Trends

⚠ 引用時の注意

「643件→5,330件」という絶対数は二次流通値（Paraform等）。一次記事は指数（%）表現のみ

メディア記事で使うときは「Indeed調べ・前年比約729%増」と書き、絶対数は使わない。この正確さ自体が「定義の正本メディア」の信頼性になる

Source: Business Insider・Bloomberry・Plank・Perspective AI（2026-07-17時点）

各数値の意味を分解する

DATA POINT 01

約 729% 増

Indeed上の「forward-deployed engineer」求人掲載件数の前年同月比（**2025年4月→2026年4月**）。

同じ系列を「2025年1月＝指数100」で見ると、2025/4は+543%、2026/4は+5,230%。
+5,230%と+729%は同一データの**基準違い**：
(5,230+100)÷(543+100)−1 ≒ 729%

Business Insiderは後に「これは指数であって絶対件数ではない」と**訂正済み**

DATA POINT 02

+1,165%

求人データ会社Revealeraのデータで、職種名「forward deployed engineer」の求人掲載件数が**2024年1〜10月→2025年同期**で伸びた率。

Bloomberry著者が算出。

729%（Indeed・単月比）とは**別ソース・別期間で直接比較不可**。どちらも「掲載件数の伸び」である点は共通

DATA POINT 03

1,206 / 669

件 / 社（2026-07-04）

Plank社集計。職種名が「Forward Deployed Engineer」に完全一致する**世界の求人数**と掲載企業数。

Greenhouse／Lever／Ashby等ATS＋YC／LinkedIn／Indeedを横断し、「企業×タイトル×勤務地」で重複排除した単日スナップショット。

広義（applied AI/agent engineer含む）なら**3,000〜6,000件**、最広義（solutions/field engineer含む）なら**1.8〜2.5万件**と推定。定義次第で1桁以上変わる

Source: Business Insider / Bloomberry / Plank FDE census（2026-07-17）

2. 国別比較 (2026-07-17 LinkedIn実測)

🇺🇸 米国	**56,000+**	厳密職名では世界1,206件の約2/3 ・ SF/NYCに83%集中（Paraform）
🇬🇧 英国	**6,000+**	米国の約1/9
🇯🇵 日本	**2,000+**	**米国の約1/28** ・ 厳密職名FDEはほぼ未形成
🇮🇳 インド	**1,000+**	リモートFDE求人あり
🇸🇬 シンガポール	**1,000+**	Indeed SG実測200+ ・ OpenAIがSG採用中

今と昔の対比：Plank censusの2/3が米国、Glassdoor英国227件（2026-05）、成長率は「2024→2025で+800%超」報道のみ。
日本は集計カウントを出す海外ソースは皮無で、自前実測が事実上唯一の定点データ

⚠ 読み方の注意

LinkedInの「N,000+」は緩和マッチ込みの丸め値

厳密職名（世界約1,200件）より1〜2桁大きい。**国間の相対比較専用**として使うこと

誤読防止（重要）

日本の「2,000+」は緩和マッチ込みの参考値

「FDE／Forward Deployed Engineer」で実際に募集している日本の求人は、Findy 64件／Green 真正31件／Wantedly 16掲載＝**媒体横断で実質約70社・100求人超**。対外発信ではこちらを正として使う

取得不可：米英Indeedの総件数（ページ内非表示）／Levels.fyi直接データ（JS描画）

Source: LinkedIn 各国・2026-07-17実測／Plank census／Paraform

3. 米国の報酬構造 — 4社比較（Mid / Senior / Staff）

一次ソース：Perspective AI「2026 FDE Compensation Report」（n=1,200：Glassdoor 423＋Levels.fyi 187＋求人票開示312＋Blind 178＋自己申告100・2026年1-5月・米国）

企業	Mid（年収）	Senior（年収）	Staff（総報酬）
OpenAI	**5,800万〜7,700万円** $385〜510K	**1.05億〜1.18億円** $700〜785K	**1.5億〜1.9億円** $1.0M〜1.28M
Anthropic	**4,500万〜5,800万円** $300〜385K	**8,400万〜1.0億円** $560〜665K	**1.1億〜1.5億円** $750K〜1.0M
Scale AI	**3,800万〜5,100万円** $250〜340K	**5,100万〜7,100万円** $340〜470K	**7,100万〜9,600万円** $470〜640K
Palantir FDSE	**中央値 約3,200万円** $215K	**4,200万〜5,100万円** $280〜340K	**6,200万円以上** $415K+

派手な総報酬と基本給の乖離 ＝ **エクイティが TC の 60〜70%**（2024年は35〜45%から急上昇）

実勢に近いのは求人票ベースの基本給中央値 ＝ **$185K（約2,800万円）**（Plank・開示398件）／ $173.8K（Bloomberry・1,000件）

Source: Perspective AI「2026 FDE Compensation Report」／Plank／Bloomberry（2026-07-17）

ティア別総報酬と日米ギャップ

TIER BY TIER — 総報酬レンジ（USD）

フロンティアラボ
OpenAI・Anthropic・Mistral・Cohere
$385K ～ $1.2M
≒ 5,800万 ～ 1.8億円

応用AIスタートアップ
Scale AI・Databricks・Snowflake等
$250K ～ $640K
≒ 3,750万 ～ 9,600万円

Fortune 500
大手企業のFDE組織
$190K ～ $420K
≒ 2,850万 ～ 6,300万円

採用量順（Perspective AI）

① フロンティアラボ（OpenAI/Anthropic/Mistral/Cohere） ② Palantir（単一企業最大） ③ AIインフラ（Databricks/Snowflake/Scale）
④ ハイパースケーラー ⑤ 垂直AIスタートアップ（成長率最速）

日米ギャップ

国際拠点の給与は
米国の 50〜70% 水準

Perspective AI

日本の1,100万中央値
= 米国基本給の 約40%

つまり2方向の語れる素材

▲ 企業向け：「国際相場ではまだ割安＝日本企業は今後上げざるを得ない」相場啓蒙
▲ 候補者向け：「海外FDEへの越境」という上位ルート

USD参照レンジ（基本給／総報酬別）— OpenAI：$385〜510K / $700〜785K / $1.0M〜1.28M ／ Anthropic：$300〜385K / $560〜665K / $750K〜1.0M ／ Scale AI：$250〜340K / $340〜470K / $470〜640K ／ Palantir：中央値$215K / $280〜340K / $415K+

Source: Perspective AI 2026 FDE Compensation Report／Plank／Bloomberry（1ドル150円換算・2026-07-17）

雇用主タイプの全内訳 — Plank 1,206件ベース

出所はPlank census（1,206件/669社）とBloomberry（Revealera 1,000件分析）の2系統。母集団が違うので%同士は混ぜないこと

カテゴリ	件数	割合	意味
スタートアップ／スケールアップ	**877**	**73%**	VC調達済みの成長企業。⚠️Plankはサブ内訳を非公開
グローススタートアップ	109	9%	—
上場テック／エンタープライズ	106	9%	—
フロンティアラボ	67	6%	OpenAI・Anthropic 等の最先端AI研究企業
アーリーステージ	42	3%	—
コンサル・SI	4	<1%	海外ではほぼ皮無＝日本の「AIコンサル/SESがFDEを名乗る」現象は**日本固有**

別集計

フロンティアラボ＋Palantirで 11%

上表のフロンティアラボ6%にPalantir単体を足した集計。

Plank原文「frontier labs and Palantir, the enterprise-facing core … 11%」

企業規模（Bloomberry）

58% が 11〜200名

Revealera 1,000件分析（Plankの73%とは別ソース・別軸）

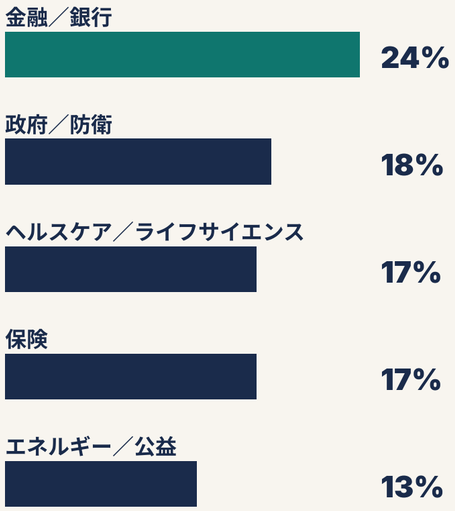
日本のFDE募集企業も中心は**50〜500名のグロース期**。「小さめの成長企業がFDEを雇う」構造は**日米で一致**

Source: Plank FDE census（2026-07-04）／Bloomberry（Revealera 1,000件分析）

顧客業界（Bloomberry）とスキル要件

顧客業界（Bloomberry）

FDEを募集するAI企業の『顧客』の業界内訳

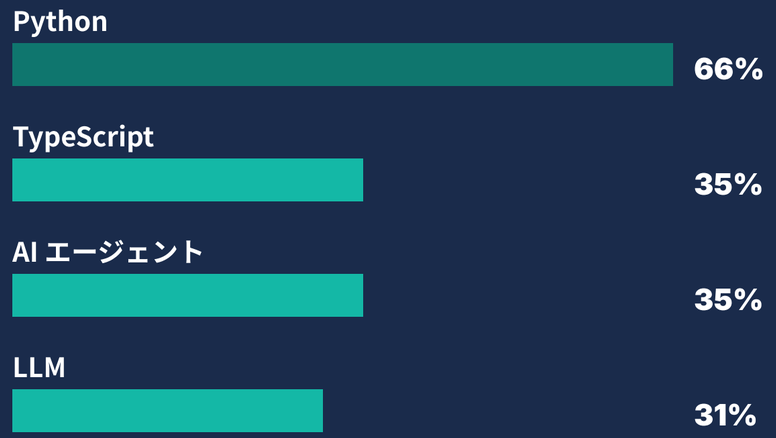


⚠️ 求人の79%は顧客業界未記載。この%は記載のある約21%分の内訳

含意：規制産業の顧客ほど汎用ツールでは導入できずFDEの伴走が要る。
日本でも金融・製造・医療のドメイン知識が歓迎要件に載る理由

スキル要件

技術スキル頻出率



最速成長スキル（Perspective AI）

「顧客ディスカバリー」系

技術ではなく、**発見・定義の能力**が最速成長スキル

Source: Bloomberry「industries of customers that need forward deployed engineers」／Perspective AI

4.5 「求める人物像」の海外／日本

海外（一次情報の逐語）

抽象語ではなく
行動・顧客没入の具体語

- 「willingness to eat pain（痛みを食う覚悟）」
- 「grinders（泥臭くやり切る人）」
- 「compulsive builders」（First Round Review）
- 「mini-founders（組織内の小さな創業者）」
- 「ディールを決めにいくこと自体への関心」
- 「bias for moving fast」（OpenAI Colin Jarvis）
- 「one customer, many capabilities」（Palantir）
- 「high agency / insatiably curious」（a16z）

NG例（First Round Review）

「FAANG 10年超の専門特化シニアは不向き」／「方法論に固執する人はNG」

日本（求人票の頻出語）

姿勢の抽象語が中心

「主体性・オーナーシップ・自走」
「顧客現場主義」
「不確実性耐性」

違いの核

方向は同じ、但し海外は
営業・商売への関心と創業者気質を明示的に要求

日本の求人票はそこまで踏み込まず抽象語に留まる。日本の「主体性」を海外流の行動描写に翻訳して見立て・面談に使うこと自体が差別化素材

実務含意：「grinders」＝「泥臭くやり切る人」／「eat pain」＝「顧客の痛みを一緒に引き受ける覚悟」／「mini-founder」＝「配属先に対して線を引かないオーナーシップ」など、対訳の"辞書"を作れる

Source: First Round Review／a16z／OpenAI Colin Jarvis／Palantir公式／日本市場ページ3-4

5. 押さえるべき代表論考

Pragmatic Engineer / 2025-08-12

「What are Forward Deployed Engineers」

Palantir "Delta" 起源の**決定版解説**。〜2016年はFDE数がコアSWE数を上回っていた

OpenAIは**8都市10+名**
Rampは**約15名のポッド制**

a16z

VC側の需要論

「The Palantirization of everything」 ・ 「FDE is the hottest job in startups」

First Round Review

「So You Want to Hire a FDE」

採用側のバイブル（採用の痛みページで詳述）

YC 求人ボード

HappyRobot／StackAI／FurtherAI 等 YC企業が多数FDE募集中

→ 次世代スタートアップの標準職種化

この4本を押さえれば「グローバルでのFDE言説の主流」がカバーできる。日本メディアで引用するときは、Pragmatic Engineer→a16z→First Round→YCの順で紹介するのが自然な導線

Source: 各媒体一次記事・2026-07-17時点

6-1. 「時差」の系譜

HR・職種の領域では「米国で流行った概念が数年遅れで日本に定着する」パターンが繰り返されてきた

ATS（採用管理）

約4年
ラグ

米：2013〜2015 → 日：2017〜2019

① 米国で Greenhouse／Lever が勃興
② 日本で HRMOS（2016）・HERP（2017創業）が同型を展開

カスタマーサクセス職

約4〜5年
ラグ

米：2013〜2015 → 日：2018〜2020

① Gainsight が職種を定義・米SaaSで標準化
② 日本でSaaS勃興とともにCS職がブーム化

SRE職

約3〜4年
ラグ

米：2014〜2016 → 日：2018〜2019

① Google発の職種名が米テックで求人一般化
② 日本でメルカリ等がSRE組織化し求人が一般化

データサイエンティスト

約3〜4年
ラグ

米：2011〜2013 → 日：2015〜2017

① HBR「21世紀で最もセクシーな職業」（2012）で米ブーム
② 日本で求人・養成講座が乱立

Source: 年は概数・公知情報ベース（2026-07調査）

⏱️ ラグは 3〜5年 → 約12ヶ月 に圧縮

米国の求人爆発＝2025年、日本の採用本格化＝2026年春。**準備期間も従来の1/3〜1/4しかない**

なぜ圧縮したのか — 3つの理由

① 情報伝播が X／Zenn／翻訳AI で即日化

米国の一次情報が日本語で読める時間差が事実上消滅

② 外資が定義ごと直輸入

Salesforce日本初FDEチーム／SB OAI Japan など

③ 日系AIスタートアップが米国の組織論をリアルタイム模倣

LayerX・ログラス等が公式ブログでFDE組織論を発信

つまり

準備期間は従来の 1/3〜1/4 しかない

「先行者」の時間窓は 3〜6ヶ月と見るのが妥当

直輸入の実例（ラグ約12ヶ月の証拠）

外資の日本拠点採用

Palantir東京・OpenAI東京のFDE求人が既に公開中（定義ごと輸入するプレイヤー）

日系の組織論模倣

LayerX・ログラスがFDE組織を公式ブログで発信（2025年後半〜）。ナレッジワーク等への人材移動も開始

媒体の反応遅延

カナ表記求人はほぼゼロ（Findy 0件）＝**企業側の輸入は完了、情報空間の日本語化は未完**

→ このギャップが

残る間が「定義権の窓」

Source: FDE Quest 独自観察（2026-07-17）

6-2. FDEの日本ピーク予測 — 黎明期→拡大期

PHASE ①

黎明期（今ここ）

2026年前半〜後半（推定）

何が起きるか

▲ AIスタートアップ中心に求人約100件
▲ カナ表記ほぼゼロ、定義の正本不在

FDE Questの動き

定義権コンテンツと企業リレーションを仕込む

現在地。カナ表記求人が始まる前に、日本語の情報空間で「定義の正本」の地位を取る

PHASE ②

拡大期

2026年後半〜2027年前半（推定）

何が起きるか

▲ メガベンチャー・上場SaaSのFDE組織化が標準化
▲ カナ表記求人が立ち上がり、転職者の検索が始まる
（定点観測便のカナ指標が検知する）

FDE Questの動き

**メディアのSEO刈り取り期
紹介決定の量産**

黎明期に仕込んだ「定義の正本」コンテンツが検索需要と接続する

Source: FDE Quest 独自予測（2026-07-17）

ピーク → 成熟・選別期

PHASE ③

ピーク（最大盛り上がり）

2027年後半〜2028年（推定）

何が起きるか

▲ 日系大手SIer・コンサルが「FDE」名称を一斉採用（SESリブランドの第二波）
▲ 求人数、4〜1桁増
▲ メディア・育成講座が乱立して飽和

FDE Questの動き

ここまでに「定義の正本」の地位と実績（決定事例）を確立していることが勝敗条件。
育成・認定商材の投入はこの直前

PHASE ④

成熟・選別期

2028年以降（推定）

何が起きるか

▲ 「AI版SES」批判が顕在化し、真正FDE（プロダクト還流型）と名ばかりFDEの選別が進む
▲ CS職ブーム（2020年以降の落ち着き）と同じ経路

FDE Questの動き

両論併記メディアの信頼が最大の差別化になる局面。
見極めフレームが標準装備化

各期への移行を検知する先行指標

①→② 拡大期入り
カナ表記求人が月次で増加／上場SaaSのFDE組織新設リリースが月1本超／type・doda等がFDE解説記事を出す

②→③ ピーク期入り
日系大手SIer（NTTデータ・野村総研・アクセンチュア日本等）に「FDE」名称／育成スクール出現／求人数が現在の5〜10倍

③→④ 選別期
退職エントリ・「名ばかりFDE」批判記事の増加。海外では既にburnout言説が先行

予測の根拠：①ラグ圧縮（3〜5年→約12ヶ月）／②米国のピーク（2025〜26）／③大手SIer新職種は1〜2年サイクル／④CS職・SRE職の日本での普及曲線（約2年）

6-3. その他の含意

1 営業設計

雇い手の主力は大手でなく**スタートアップ73%**。日本でもAIスタートアップ中心の開拓が正しい。大手SIer開拓は第二波まで待つ

2 報酬の二層構造を輸入して語る

「米国は基本給2,800万・エクイティ込み1.5億」という数字は、**候補者集客コンテンツと企業向け年収設計支援**の両方の商材になる

3 顧客ディスカバリースキル最速成長

技術より**発見・定義の能力**が市場価値の源泉になるトレンドは、PM人材プール（PM Quest資産）との接続を正当化する

4 未検証事項（開示すべき）

Levels.fyi直接データ、米英Indeed総件数、Sierra／Harvey個別求人額面。**引用時は「取得不可」だったことを開示する**

結論の再掲

この「時差」と「報酬ギャップ」自体が
FDE Quest のコンテンツ資産になる

— 海外FDE市場データ（2026-07-17）／FDE Quest